

第126回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2022年10月7日（水）18：30～19：45

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 18名

3 会議内容

<新規提案>

（1）薬剤師がすすめる免疫力アップの食事講座 食材えらび編

【概要】

- ・7月に開催したイベントの第2弾として免疫力をあげる食材選びについて考えるイベントを開催したい（第1弾は調味料選び）
- ・野菜や肉などいくつかの食材について選び方をお話し、質問や雑談する時間を設けながら進めていく

【意見】

- ・魚もぜひ内容に加えて欲しい
- ・免疫力アップを分かりやすくいとうどうなるのか
腸内細菌を整えること等
- ・チラシにある「食品の裏側」とは何を指すのか。少々ネガティブなイメージをもってしまう。
食と地域の繋がりを意識してもらおうと、「裏側」という言葉を使った。表現を変えてみる
- ・食品の値上がりが続いているので、家計にやさしい免疫力アップ食事講座も開催してほしい
- ・第1弾に参加しておく必要はあるか
必要なし。チラシから第2弾という文言を消して、参加しやすくする。
- ・具体的にはどんな内容を話すのか
地産地消を主軸に話していく予定

（2）座談会 そろそろ地域について考えよう会（仮）

【概要】

- ・自治会やPTA、ボランティア団体等の役員・経験者で地域活動の輪を広げたい人や、経験はないが住民同士のつながりを求めている人を対象に、持続可能な地域活動とは何か考える座談会を行いたい
- ・過去3回「そろそろPTAについて考えよう会」というイベントを開催する中で、PTAに限ら

ず、「地域コミュニティの希薄化」が問題になっているという話になり、今回のテーマをとりあげた

【意見】

・ボランティア団体とは、どんな団体をイメージしているのか

知っているものだと、子どもの支援団体（不登校の子ども支援や、宿題のお手伝いなど）があげられるが、何らかの活動をしている団体をイメージ。

・イベントはどのように進行するのか

全国の活動事例（成功・失敗）を紹介し、地元でどのように還元できるかグループディスカッションを行う予定。

・地域で活動されている方の一覧を、活動内容ごとに仕分けた表をつくると楽しそう

（３）楽しいお箸鉛筆の持ち方を知ろう

【概要】

・スプーンとお箸、鉛筆と順を追って「優しい力で持つ」ことの重要性知り、コツを掴んでもらえる講座を開催したい。

・長年教師として小学生を見てきたが、子どもたちの鉛筆の持ち方と姿勢が年々悪くなってきていると感じる。一生懸命勉強しても、持ち方が悪いと変に力が入り疲れやすく効率が悪くなってしまふ。

・指を合理的に使えば楽に持てることを伝えられる機会を増やしたい、また教えられる人が増えるよう持ち方の練習ができるイベントにしたい。

【意見】

・過去に持ち方を変えるだけで字を書くのが楽になった経験がある。ぜひ色々な人に参加してもらいたいと思う

・スプーンやお箸、それをつかってつまむものはどのように準備するのか

企画者が準備する。また全て100均で揃うので、お家の方でも揃えれば練習できる

・「楽しい」要素は何か

楽な持ち方にはこの原理が働いている。なぜ楽なのか根拠を説明し、それを活かすテクニックを紹介する

・人が書いている動画を見せて、支点・力点・作用点がどこかクイズを出しても面白そう

個人情報があるため、企画者以外が書いている動画を使用するのは難しい。

（４）朗読会

【概要】

・伊丹市内の朗読グループや読み聞かせの活動をしている方の発表の場を設けることを最終目的に、不定期ながら朗読会を開催したい。今回はその足掛かりとして企画者1人が出演する。

・朗読予定作品は中島敦著『山月記』、宮本輝の短編など。

【意見】

- ・6月の同イベント開催時は、伊丹北高校の放送部員も朗読したが、今回はあるのかスケジュールが合わなかったため、なし。

(5) キッズサバイバー講座(地震編)

【概要】

- ・子育て世代の家族を対象にした防災イベントを行いたい。防災の講座の他、応急手当やAEDの体験を行う。

【意見】

- ・講座はどのような内容なのか
地震が起きる、1分、1週間、1か月前に何ができるのかシミュレーションを行う
- ・終わりの時間が記載されていると参加しやすい
後半のAEDや応急手当体験にかかる時間が参加者数によって変動するため、明確な時間の記載が難しい。

< イベント実施報告 >

(1) 追手門学院大学インターン生企画「写真で一句」

- ・参加者は9人。小学生の親子を対象に、写真を見て俳句を考え発表した後、将来をイメージした俳句を詠んでもらった。
- ・保護者にも俳句を書いてもらうようにしたら、子どもの方がスラスラと書いていて、親にツッコミを入れていたのが印象的だった。
- ・スケジュール通りに進めることができなかった。もっと準備して臨機応変に対応できていたらと思う。一方で、参加者とのコミュニケーションはしっかりとれた。

(2) いたみ文芸ことそうし

- ・参加者は4人。文章を読み合い、感想を共有した他、10周年企画のリレー小説の第2話の選定を行った。
- ・ことば蔵10周年企画のリレー小説について、第3話の募集を開始している。興味あればぜひ参加してもらいたい。

(3) ことくらちゃんと秘密の落としもの～協力参加型クイズゲーム～

- ・参加者は11人。小学生を対象に交流フロア全体に謎やヒントを用意して、クイズに挑戦しながら、ことば蔵について学べるイベントを行った。
- ・最初に自己紹介の時間をとった他、前に映す動画や、クイズの内容を工夫したことで、参加者同士で助け合ってクイズを解くことができた。

(4) 漫画を語ろう！

- ・ 参加者は8人。テーマは「時間移動する漫画」。いわゆるタイムスリップや、異世界への冒険漫画など様々な漫画が紹介された他、タイムパラドックスの解釈についても話し合った。
次回は10月26日(水)18時30分～ テーマ「きっかけになった漫画」で開催。

(5) ~お仕事紹介シリーズ~ 郵便局のお仕事

- ・ 参加者は10人。小学生の親子を対象に、郵便局の仕事の中でも保険や貯金に注目して紹介するイベントを行った。
- ・ ホワイトボードに自分の家や、会社、銀行などを貼付け、お金の流れを視覚的に説明した。またお金について、食費などのすぐに使うものや、学費など残しておくべきお金の分け方考えることの重要性を伝えた。

4 次回の運営会議 2022年11月2日(水)18:30~ ことば蔵1階 交流フロア